

勤労

みなさんは「勤労」と聞いて、どんなイメージを持ちますか？

きっと「大人が仕事をして、お金を稼ぐこと」と考える人が多いですね。中学生のみなさんにとっては、まだ少し先の話に感じるかもしれません。

実は、中学生の頃の私もそうでした。「大人になったら働かないといけないなんて、大変そうだな」と、どこかめんどくさく思っていました。

その考えがガラリと変わったのは、私が初めてアルバイトをして、自分でお給料をもらったときのことです。慣れない仕事でヘトヘトになり、やっと手にした最初のお金。それを見たとき、嬉しさと同時に「働くってこんなに大変なんだ…」と感じました。それと同時に、頭に浮かんだのは親の姿でした。

毎日当たり前のようにご飯を食べ、学校に通い、必要なものを買ってもらう。それがどれだけ大変なことで、どれだけの愛情に支えられていたのか、自分が働いてみて初めて痛いほどわかりました。「働く」とは、ただお金をもらうことではない。今まで誰かからもらってきた優しさのバトンを、今度は自分の力で誰かに返していくことなんだ、と気づかされました。

世の中にある仕事はすべて、誰かの「困った」を助けたり、誰かの「うれしい」を作ったりするためにあります。みんな、自分の力を使って誰かを支えているのです。

そう考えると、みなさんの今の学校生活にも、たくさんの「働くタネ」がつまっています。委員会、日直の仕事、部活の片づけ、家でのお手伝い。これらはすべて、自分以外の「誰かのため」に力を使う練習です。

「めんどくさいな」と思う日もあると思います。でも、誰かのために一生懸命働いたあと、周りから「ありがとう」と言われたときのあのスッキリとした充実感は何にも代えられません。そのとき、みなさんの心はすこし大人に近づいています。

「勤労」とは、義務ではなく、自分の力で誰かをちょっと幸せにすること。そして、そんな自分を少し好きになることです。

まずは今日、目の前にある係の仕事や掃除、周りへの小さな気配りを心をこめてやってみませんか？みなさんのその小さな頑張りが、素敵な人になるための第一歩です。

年 組 番 名前